



過疎対策にもっと財政支援を...

全国で高齢化率が最も低かった沖縄県が 昨年3月に超高齢社会の水準に突入したことで全都道府県で超高齢社会となった。

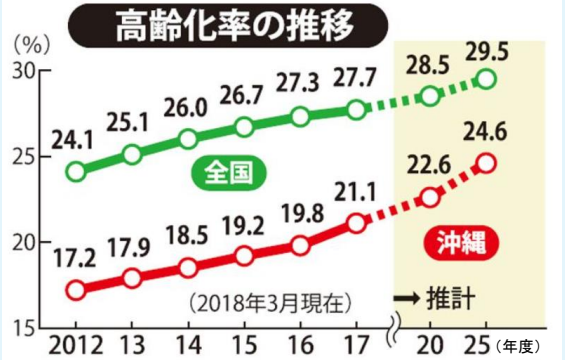
沖縄県では高齢者人口が増え続けることへの対応が課題で、沖縄ならではの地域包括ケアシステムの構築が求められ、医療ニーズの高い 高齢者を 在宅で受入れ、看取りまで行える看多機（看護小規模多機能型居宅介護）のサービスが必要とされ、あまり知られていない看多機サービスの実態や制度、経営について、

沖縄県が企画したセミナーの講演講師の依頼を受け、那覇市、宮古島、石垣島の 3ヶ所で講演を行ってきた。那覇市の会場には、沖縄本島の訪問看護ステーション、デイサービス、病院や施設等が 医療ニーズの高い 高齢者の受入れをしていきたいと、100名ほどの人が セミナーに集まった。昨年度の看護小規模多機能型居宅介護の 公募では 2ヶ所のみであった 応募数も、今回 10ヶ所以上の公募が集まるようだ。

私も一人の看護師として、訪問看護ステーションを平成9年 3月に立上げ、訪問介護やデイサービス、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と、一つ一つの事業を、時代のニーズに合わせて 20数年行ってきた。医療、認知症に強い事業所を目指し、あくまでも在宅にこだわり、小規模多機能「ケアハウス絆」と 看護小規模多機能「ケアホーム希望」に 特化した事業展開を現在行っている。小規模多機能「ケアハウス絆」は開設してから 11年が経ち、看護小規模多機能「ケアホーム希望」は 6年目となる。常に定員 29名を確保し、安定した黒字経営をしている。職員教育や雇用にも力を入れ、看護師、介護職の 質の高いサービスの 充実を図っている。このようなサービスを調布市で運営しているは 弊社のみで、利用 ニーズがあっても質の高いサービスを維持することは難しく、大手企業も参入しないのが現状である。

「ケアホーム希望」においては、年間約8名～10名の利用者を看取っているため 職員教育や医師との連携が大切である。

一方 沖縄県本島は高齢者の人口増加や 病院、クリニックがあり、看多機の展開は地域との連携や資本金、経営者の強い思いがあれば起業は可能と思われるが、宮古島や石垣島ではリゾート開発が進み、観光客でいっぱいであるも介護職不足や施設を利用したいが、車で1時間程かかる地域に住んでいるなど、島 全体で 深刻な問題になっていると、市の担当者は言う。



【全国と沖縄 高齢化率の推移】



沖縄県の介護職における最低賃金は 762円と低く、若い働き手は観光業等に勤めてしまう。

今回、石垣島の北部で小規模多機能を運営している Nさんと出会い、話を伺った。住み慣れた地域で在宅介護したいとの思いが強く開設したが、毎月100万円近い赤字。年1,200万円の赤字で運営している。近くには病院やクリニックはなく、週に1回 診療所が開き、医師が常駐していない地域で、毎日泊まり込んで利用者の対応を行っている。

経営者は介護経験が浅く、父親が残してくれた資金もいつまで続くかわからない日々で苦悩の毎日を送っている。

石垣島では、その一事業所が看多機に興味を持ち、講演に参加した。診療所も少なく、高齢者も数多く集中している地域でもなく、要介護度が重くなると特養に入所となるのが現状だと言う。

経営者のNさんは、「住み慣れた地域で がんじゅー（丈夫・元気）さ～、最期まで暮らせるように」との強い思いがある。普通の企業であれば儲からないとすぐ撤退してしまうのが現状である。地域密着型サービスは、市町村の管轄であるが、こうした問題を国や県も含めて過疎対策に財政支援の検討も必要なのではないか。



3月の誕生日会

ありがと

誕生日おめでとう
おいづに
なったのかしら？

祝 88歳

祝 90歳

祝 76歳

困ったなあ～
ケーキ作りなんて
生まれて
初めてだよ…

誕生日ケーキをみんなで
作ってお祝いしましょ～！

ケーキ作るの
久しぶりだわ～

のぞみ 希望 日誌

今回、23年ぶりに 3泊4日のスケジュールで沖縄に出かけることができた。4日間で那覇、宮古島、石垣島での講演はかなり移動時間も長いハードな日程であったが、その間、私の代わりに毎日事務所に看護師が泊まり緊急時に備えて対応してくれたお陰と、皆さま方のご協力もあり、無事に過ごすことができました。

数時間だけ「大好きなジンベエザメが見たい」と自由時間を作ってもらい、水族館の飼育下における世界初のジンベエザメの繁殖を試みている美ら海水族館に行ってきました。繁殖すれば世界初となる。どうか…ジンベエザメの赤ちゃんが日本で生まれますよ～に…。



(金沢 二美枝)